

2018年3月期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2018年5月15日

1. 市場環境

堅調な日本に加え、欧米については期の後半に進むにつれ回復
中国経済の持ち直しもあり、総じて緩やかな回復基調が継続

2. 2018年3月期 業績

グローバルでの旺盛な設備投資需要を捉え、グループ全体で増収、増益

売上高	55,168百万円	(前年同期比	+7.9%)
営業利益	4,698百万円	(前年同期比	+11.6%)
当期純利益※	2,836百万円	(前年同期比	+49.4%)

※親会社株主に帰属する四半期純利益

為替レート 平均レート 1ドル=110.9円

3. 総括

- (1) 良好な外部環境の下、インフラ整備、天然資源、民間設備投資とも受注は好調
- (2) 新基幹システム導入後に生産活動が低下するも、影響は一時的
→生産・出荷遅延に係る一時費用を計上、期中に安定稼動に向かう
- (3) 為替水準、資材費、米中関係など外部環境リスクは引き続き注視

1

2018年3月期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

2018年3月期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2017/3期	2018/3期	前期比
売上高	51,141	55,168	7.9%
営業利益 (営業利益率)	4,208 (8.2%)	4,698 (8.5%)	11.6%
営業外収益	199	204	
営業外費用 ※1	1,158	1,111	
経常利益 (経常利益率)	3,249 (6.4%)	3,791 (6.9%)	16.7%
特別損益	※2 328	—	
法人税等	1,695	※3 845	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	1,897 (3.7%)	2,836 (5.1%)	49.4%
EBITDA =営業利益+償却費	6,340	7,142	

注 為替レート (2017/3期→2018/3期) :

USD 108.4円 → 110.9円 CAD 82.5円 → 86.5円 EUR 118.8円 → 129.7円 RMB 16.4円 → 16.6円

※1 非連結のイタリア子会社収支422百万円 (2017/3期)、245百万円 (2018/3期) を持分法による投資損失として計上

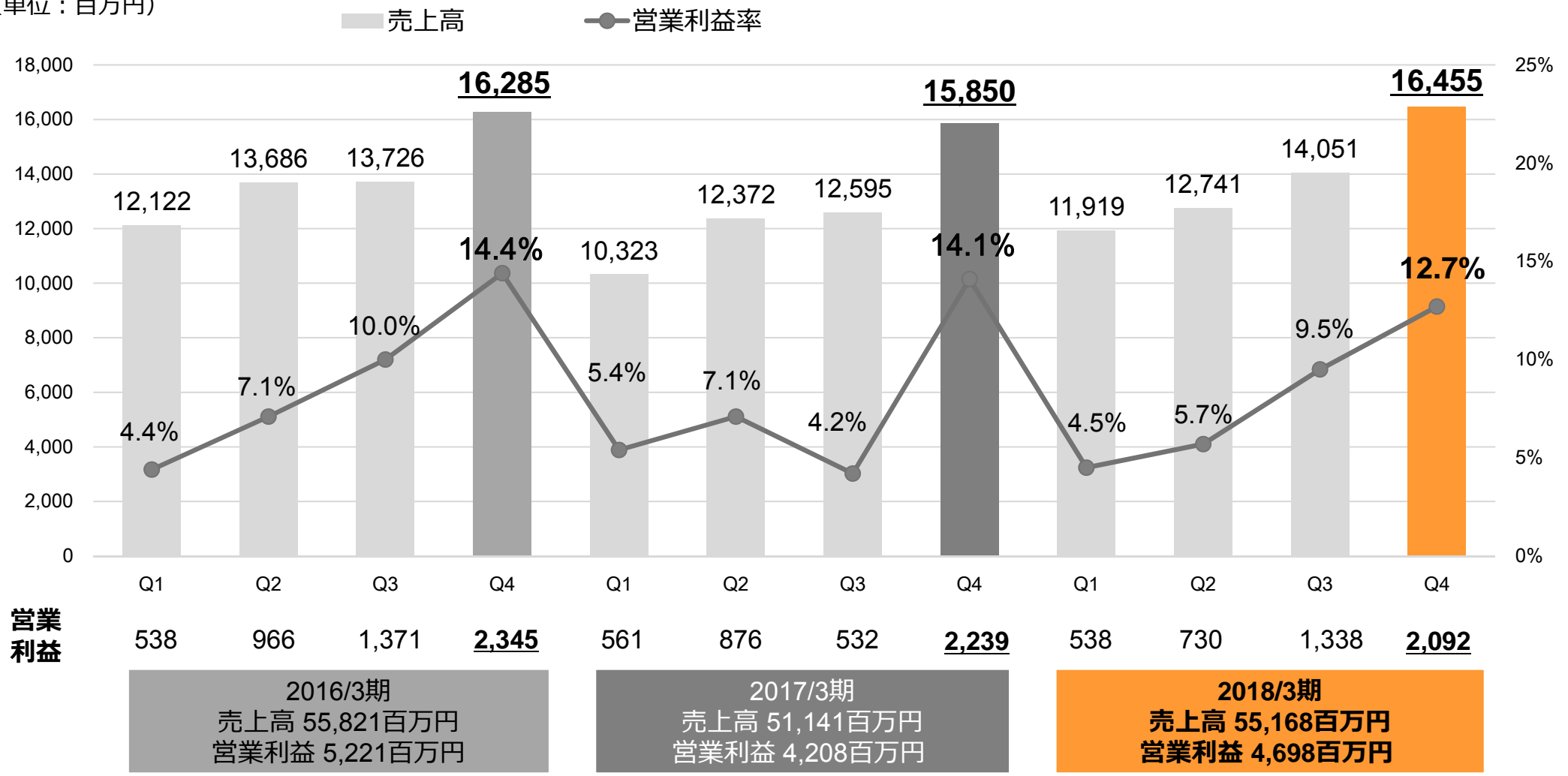
※2 買収したPWB Anchor社の純資産の評価額が、取得価額を上回ったことによる「負ののれん」発生益489百万円、及び台湾子会社の減損損失161百万円を計上

※3 米国減税による一過性の影響として477百万円を計上

売上高および営業利益率（四半期比較）

**グローバルでの需要の高まりを捉え増収増益
新基幹システム導入に係る 生産・出荷関連一時費用を期末にかけて計上**

(単位：百万円)



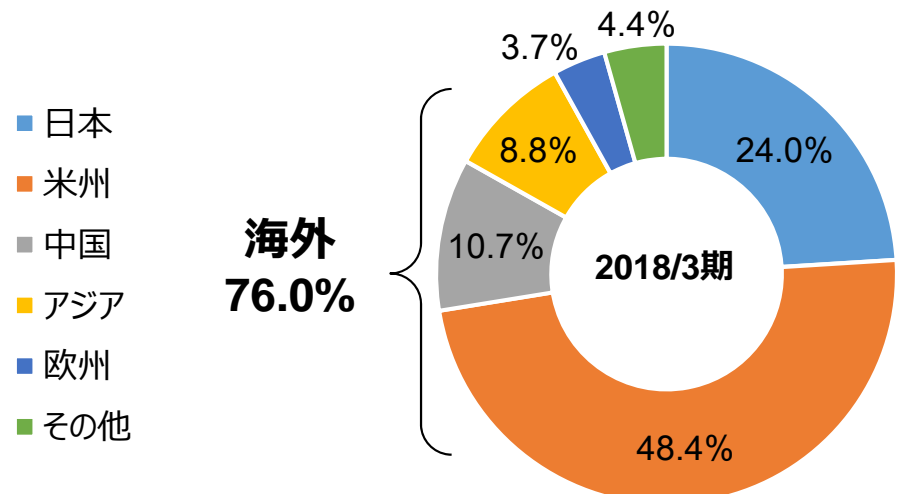
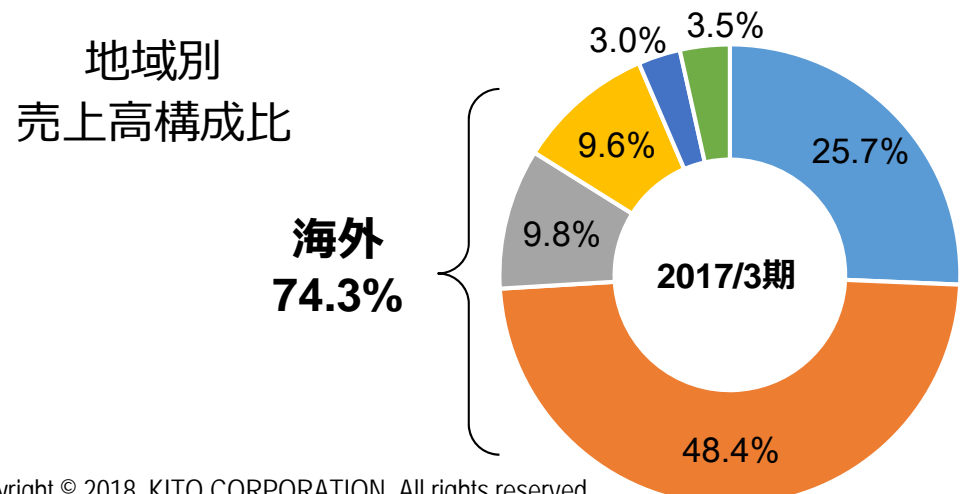
地域別の状況

地域分散された事業ポートフォリオを展開、グローバルで増収

(単位：百万円)	2016/3期		2017/3期		2018/3期		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	55,821	100.0%	51,141	100.0%	55,168	100.0%	4,027	7.9%
日本	12,692	22.7%	13,129	25.7%	13,261	24.0%	132	1.0%
米州	27,909	50.0%	24,742	48.4%	26,700	48.4%	1,957	7.9%
中国	7,418	13.3%	5,034	9.8%	5,903	10.7%	869	17.3%
アジア	5,321	9.5%	4,925	9.6%	4,837	8.8%	▲88	▲1.8%
欧州	1,837	3.3%	1,523	3.0%	2,060	3.7%	537	35.2%
その他地域	642	1.2%	1,785	3.5%	2,404	4.4%	619	34.7%

注 為替レート (2017/3期→2018/3期) :

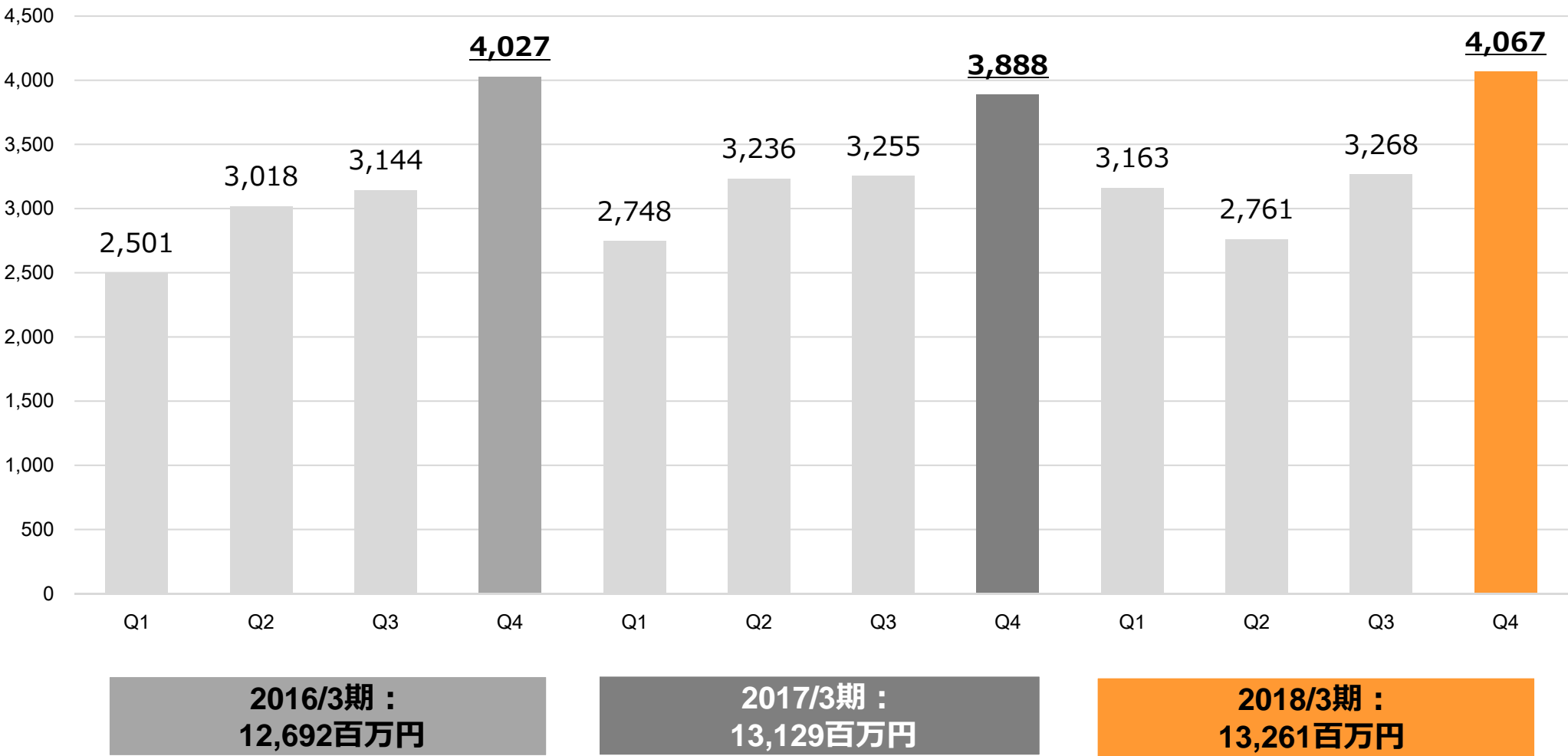
USD 108.4円 → 110.9円 CAD 82.5円 → 86.5円 EUR 118.8円 → 129.7円 RMB 16.4円 → 16.6円



地域別売上高（日本）

- 基幹システム入替えの影響はあったものの、Q3以降で通常生産レベルに回復
- インフラ整備、民間設備投資向け、ともに受注が堅調

(単位：百万円)

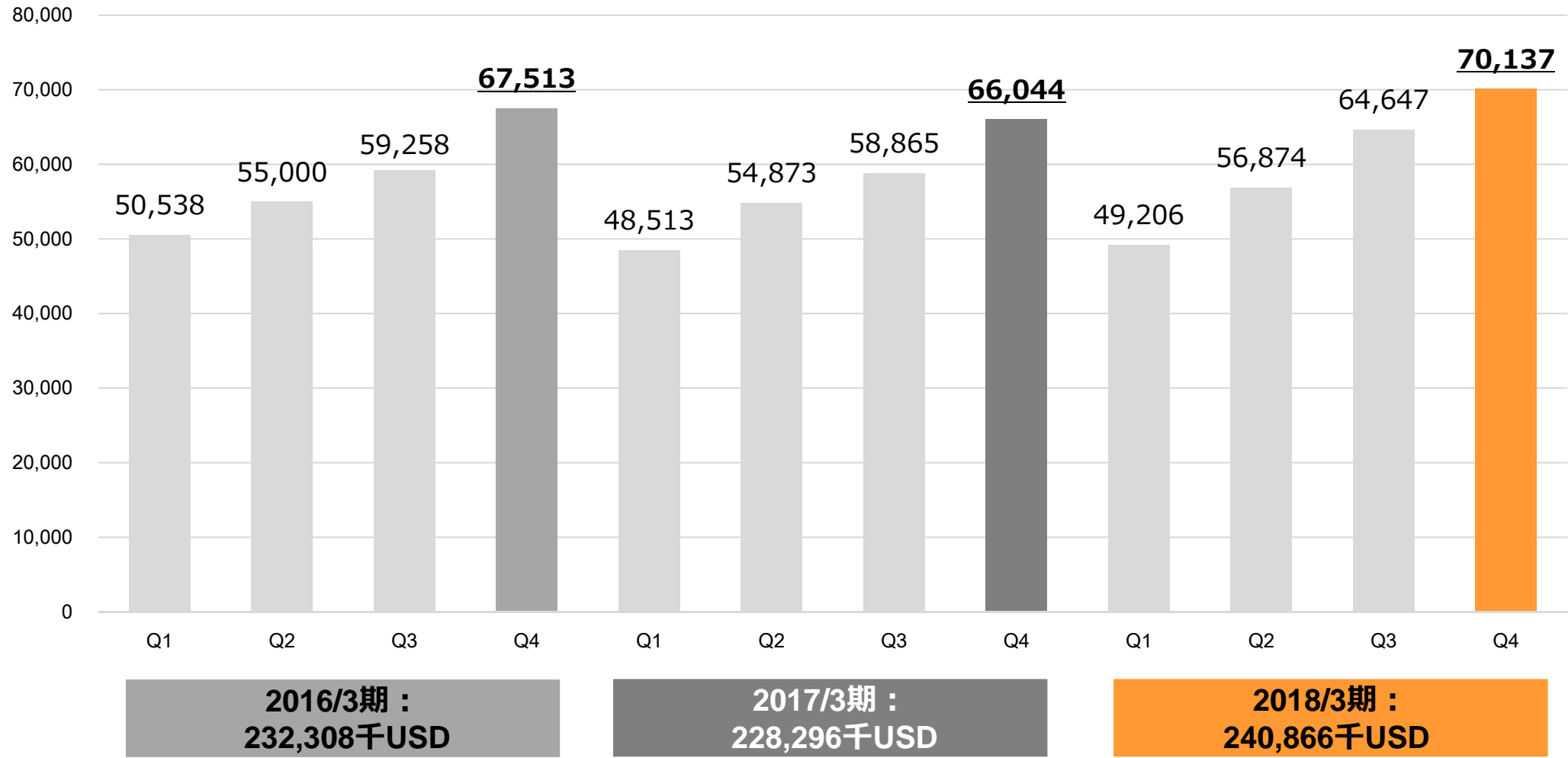


地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高（千ドル換算）を加算した金額の推移

- 製造業の設備投資、インフラ関連需要とも底堅く推移
- 資源価格の持ち直しも追い風

（単位：千USD）

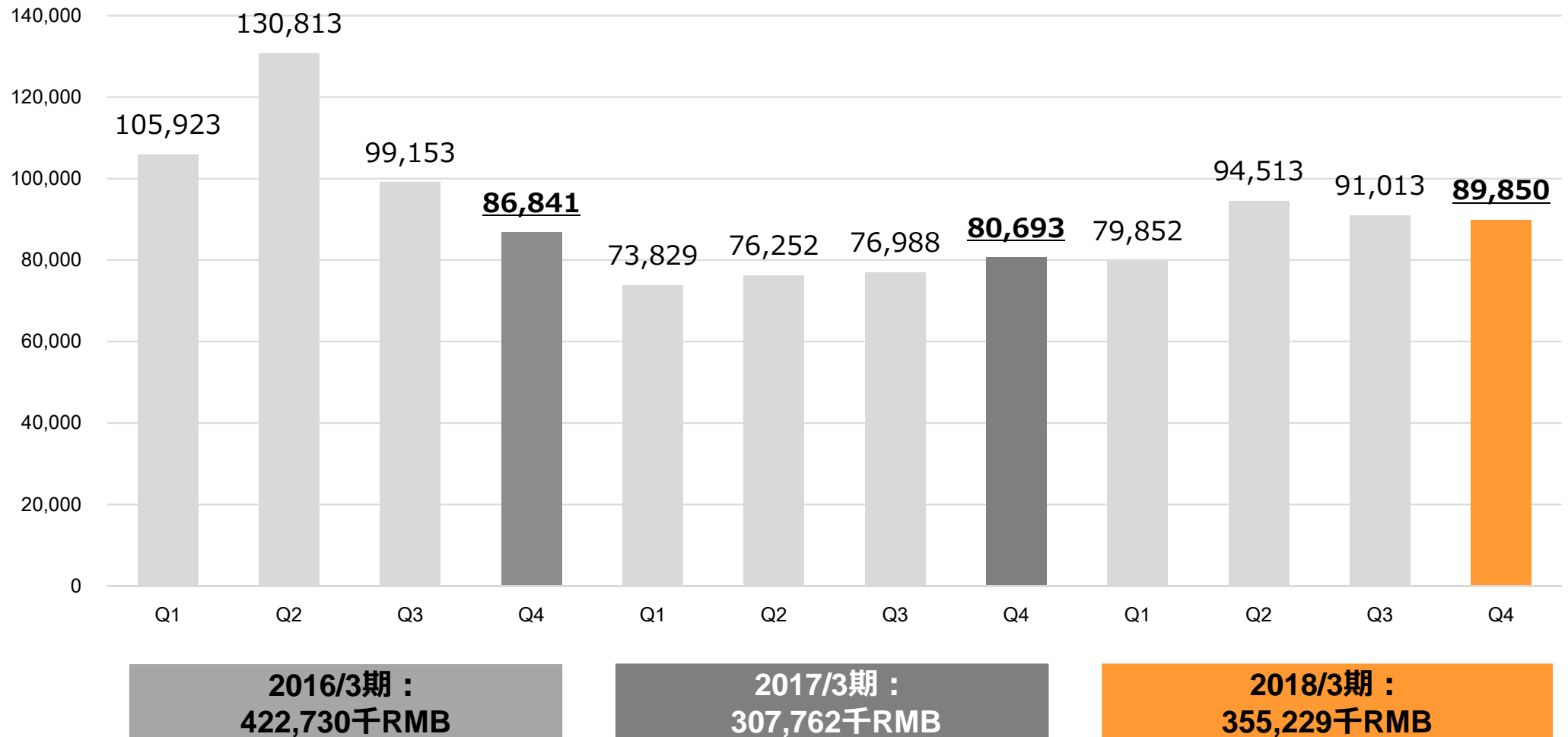


地域別売上高（中国）

※中国は1-12月決算

- 景気減速感にも歯止めが掛かり、低調に推移した需要も底打ち感

（単位：千RMB）

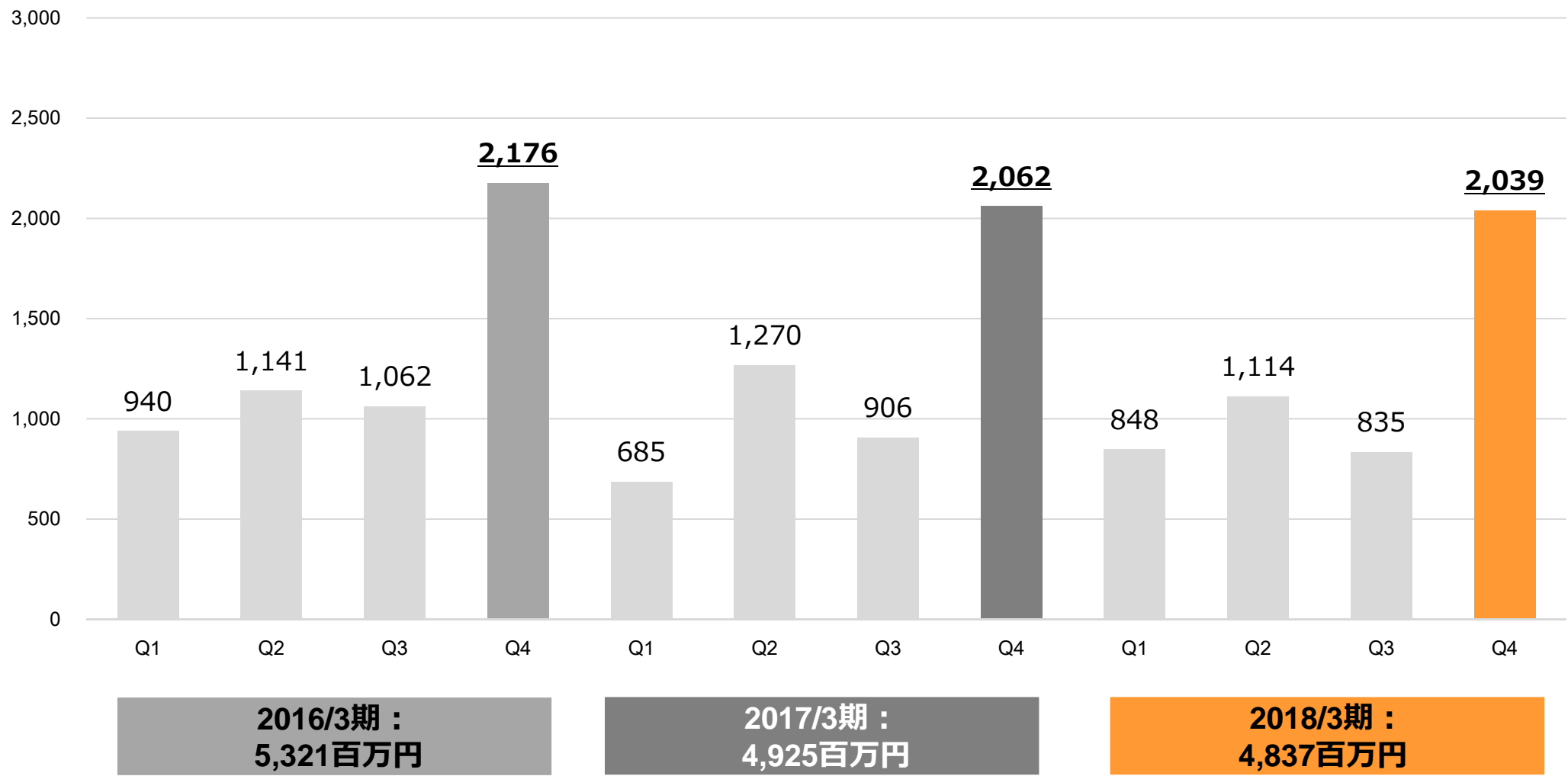


地域別売上高（アジア）

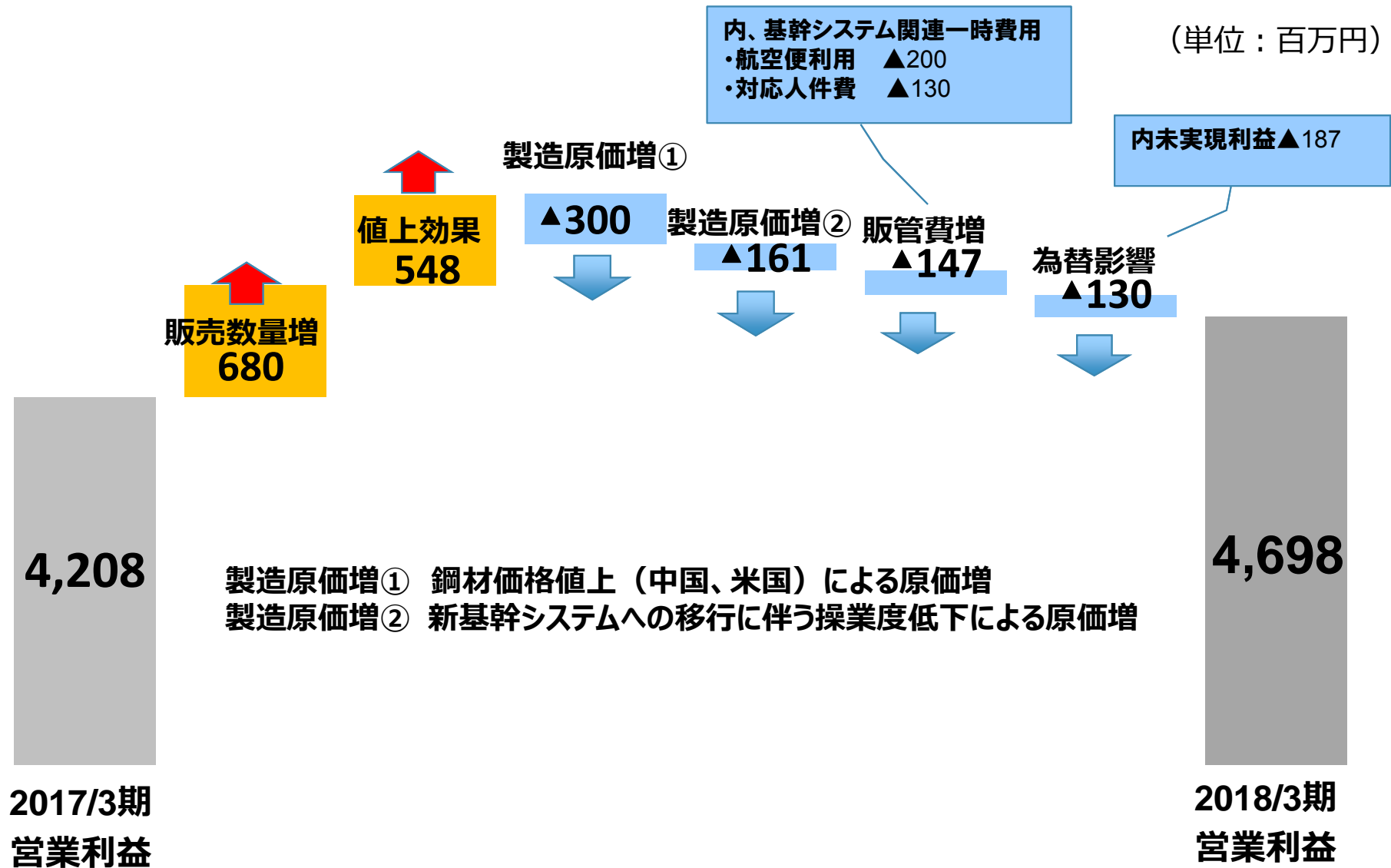
※タイ、韓国は1-12月決算

● 各地域で、底堅い需要に対応すると共に収益改善に注力

（単位：百万円）



営業利益の比較



2018/3期 連結貸借対照表

単位：百万円	2017/3期	2018/3期	増減額
流動資産	37,960	40,130	2,170
現金・預金	9,069	10,780	1,711
受取手形及び 売掛金	11,139	11,447	308
たな卸資産	15,402	15,502	100
その他	2,348	2,401	53
固定資産	22,177	21,724	▲453
有形固定資産	11,948	11,549	▲399
無形固定資産	7,658	6,841	▲817
投資その他資産	2,569	3,332	763
資産合計	60,137	61,854	1,717

単位：百万円	2017/3期	2018/3期	増減額
流動負債	20,023	18,619	▲1,404
支払手形及び 買掛金	5,438	6,143	705
短期借入金 ※	9,879	5,719	▲4,160
その他	4,705	6,754	2,049
固定負債	18,874	19,537	663
長期借入金	14,298	15,731	1,433
その他	4,575	3,804	▲771
純資産合計	21,239	23,697	2,458
負債純資産合計	60,137	61,854	1,717

※1年内返済予定の長期借入金を含む

連結キャッシュ・フロー

	2017/3期	2018/3期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	3,981	7,044	3,063
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,142	△2,191	△49
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,148	△3,083	△1,935
現金および現金同等物 に係る換算差額	△152	△59	93
現金および現金同等物 の増減額	538	1,710	1,172
現金および現金同等物 の期末残高	9,059	10,769	1,710

<2018/3期の主な内容>

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 :	3,791
減価償却費 :	2,116
売上債権の増加 :	△441
たな卸資産の増加 :	△445
法人税等の支払額 :	△672

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 :	△1,030
無形固定資産の取得による支出 :	△380
関係会社株式の取得による支出 :	△498

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出 :	△8,600
長期借入れによる収入 :	6,723

1

2018年3月期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

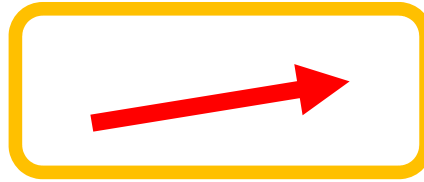
3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

2019年3月期の見通し

日 本



市場環境

- 民間設備投資が継続し、持続的な成長を期待
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

取り組み

- 新基幹システムの安定運用。需要増に応えるべく増産を継続
- 新製品の導入、品揃え拡大を継続、クレーンビルダーとの連携強化

米 州



市場環境

- 需要は幅広い産業での底堅い推移を見込む
- インフラ関連投資、エネルギー関連産業に期待

取り組み

- 納期短縮、質の高いサービスによる顧客満足度向上
- 製品品揃えを拡充し、顧客を取り込む

2019年3月期の見通し

中 国



市場環境

- 景気減速に収束感。更なる需要回復を期待
- 政府の環境対策への対応

取り組み

- グローバル製品の生産拡大
- コスト削減による利益改善策を継続

ア ジ ア



市場環境

- 設備投資は回復の兆し

取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 事業効率化による利益改善策を継続

欧 州



市場環境

- 幅広い産業での緩やかな需要拡大を見込む

取り組み

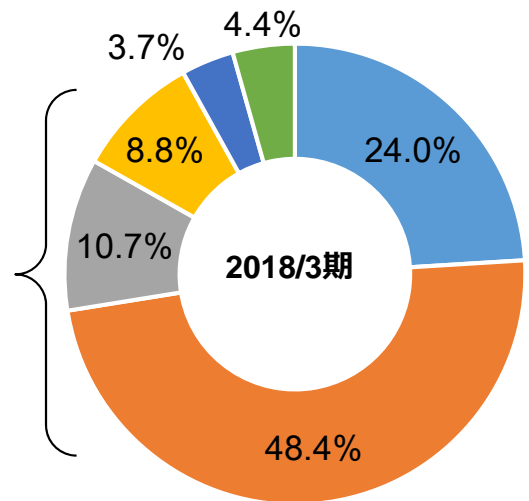
- 子会社、関連会社との相乗効果拡大、さらなる市場の開拓

2019年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2018/3期		2019/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	55,168	100.0%	58,000	100.0%	2,832	5.1%
日本	13,261	24.0%	14,300	24.7%	1,039	7.8%
米州	26,700	48.4%	26,800	46.2%	100	0.4%
中国	5,903	10.7%	6,300	10.9%	396	6.7%
アジア	4,837	8.8%	4,600	7.9%	▲238	▲4.9%
欧州	2,060	3.7%	3,600	6.2%	1,540	74.8%
その他地域	2,404	4.4%	2,400	4.1%	▲5	▲0.2%

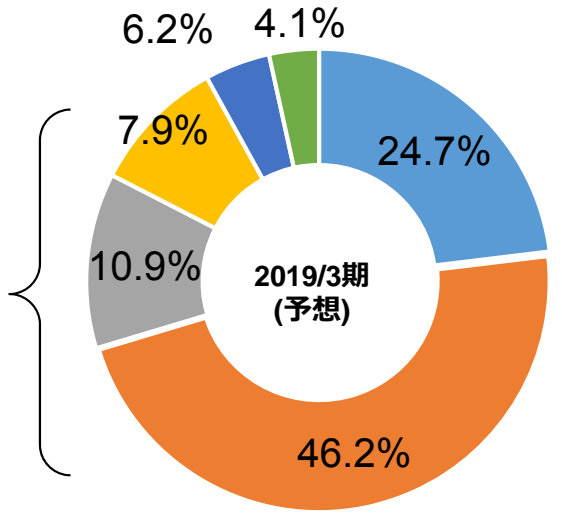
地域別
売上高構成比

海外
76.0%



- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他

海外
75.3%



2019年3月期 業績予想

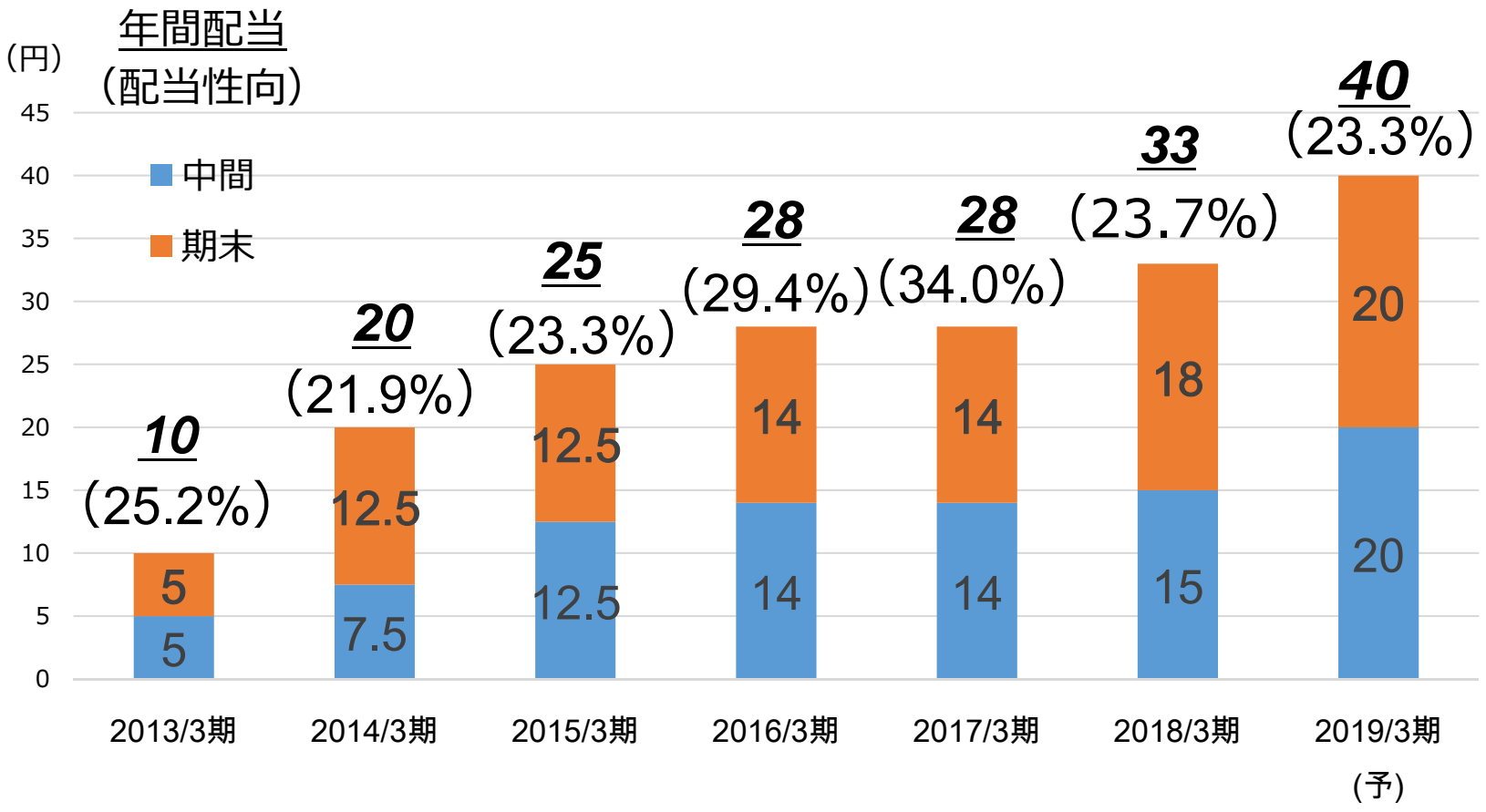
(単位 百万円)	2018/3期	2019/3期	前期比
売上高	55,168	58,000	5.1%
営業利益 (営業利益率)	4,698 (8.5%)	5,500 (9.5%)	17.1%
経常利益 (経常利益率)	3,791 (6.9%)	5,100 (8.8%)	34.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	2,836 (5.1%)	3,500 (6.0%)	23.4%
EBITDA =営業利益+償却費	7,142	8,300	

注 為替レート (2018/3期→2019/3期) :

USD 110.9円 → 105.0円 CAD 86.5円 → 85.0円 EUR 129.7円 → 130.0円 RMB 16.6円 → 17.0円

株主還元方針／配当予想

**配当性向20%以上を目処に
年間配当額 33円 から40円に増配予定**



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014/3期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2018年3月期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

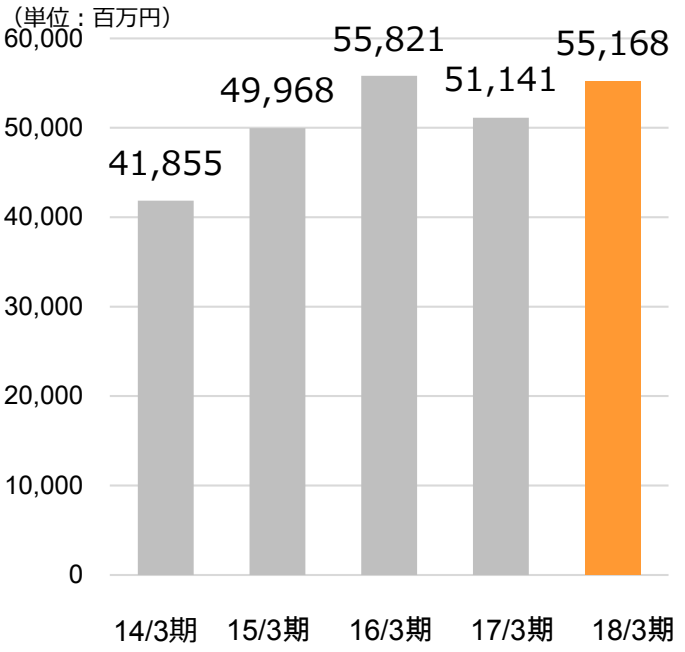
3

参考資料

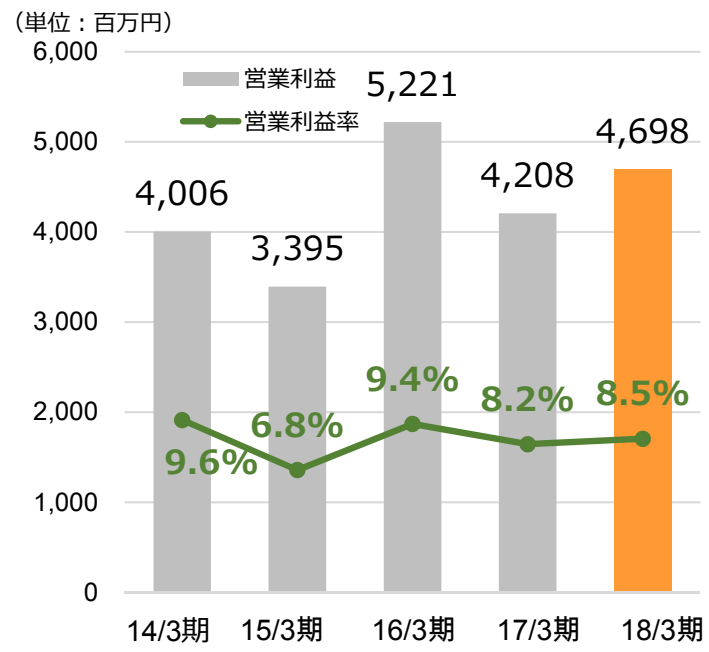
- 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

業績・財務情報

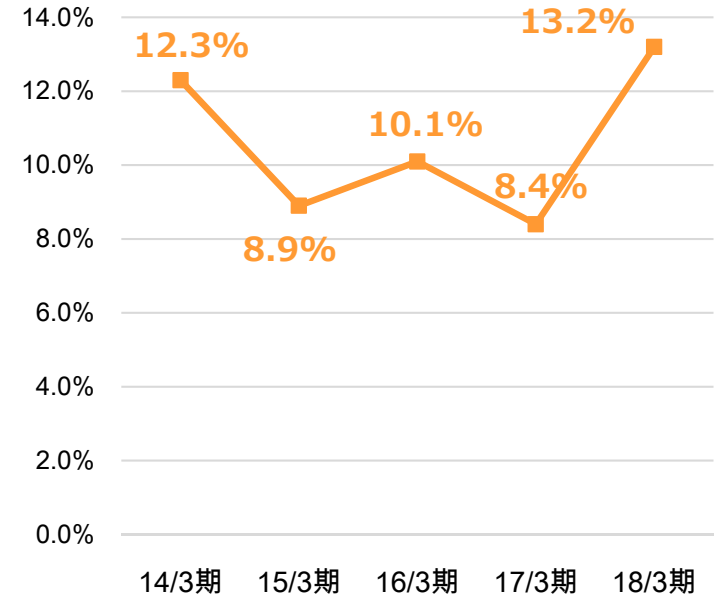
売上高



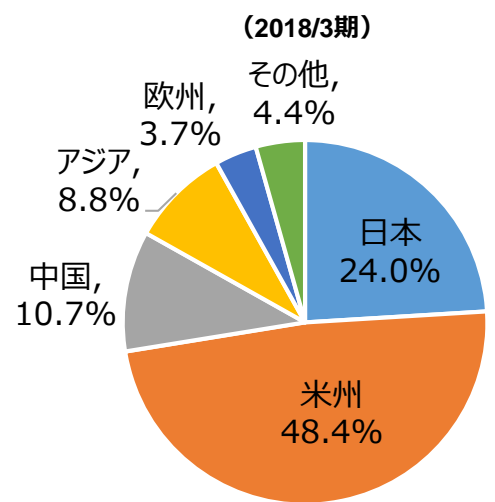
営業利益・営業利益率



ROE

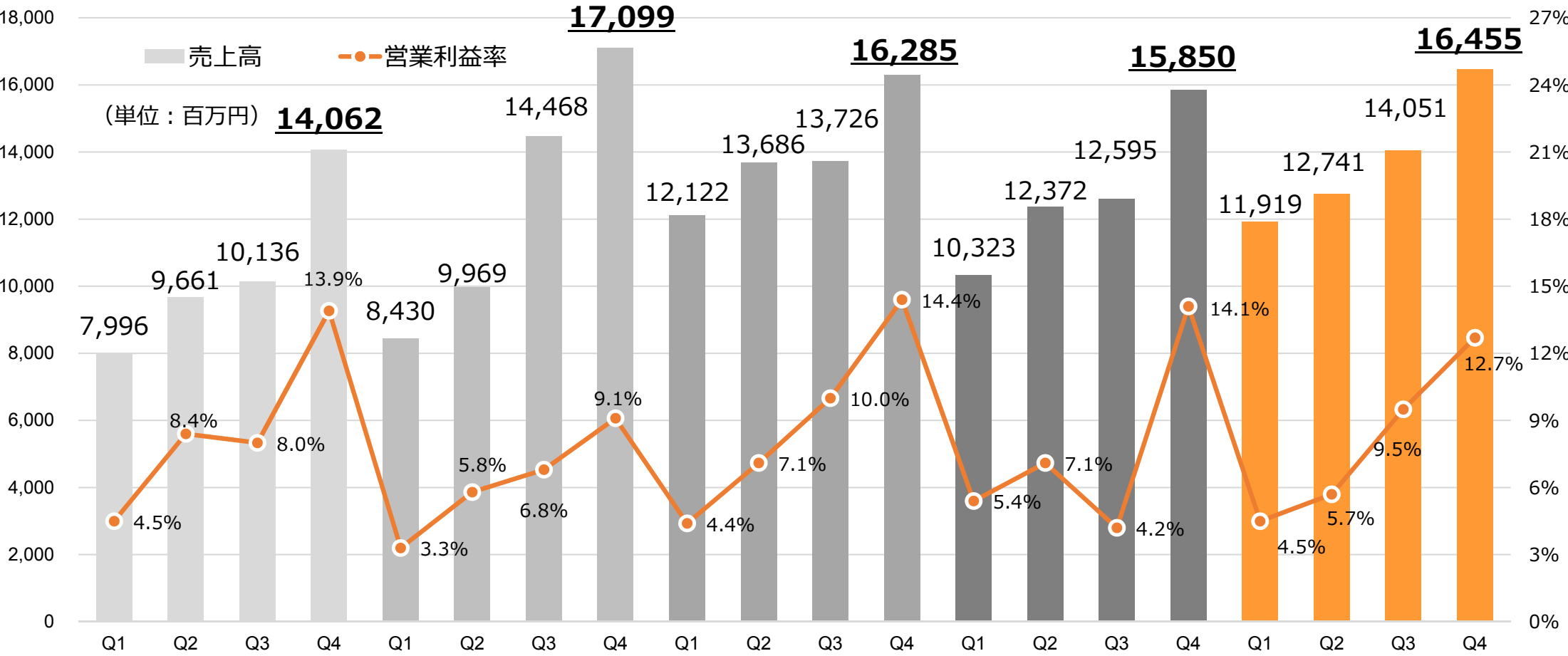


地域別売上高比率



	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
海外比率	72.2%	76.6%	77.3%	74.3%	76.0%
為替平均レート					
USD	100.2円	109.9円	120.1円	108.4円	110.9円
CAD	95.1円	96.5円	91.8円	82.5円	86.5円
EUR	134.4円	138.8円	132.6円	118.8円	129.7円
RMB	15.9円	17.2円	19.2円	16.4円	16.6円
設備投資額(百万円)	2,440	1,408	2,013	2,393	1,411
減価償却費(百万円)	954	1,311	1,814	1,792	2,116

売上高および営業利益率（四半期比較）



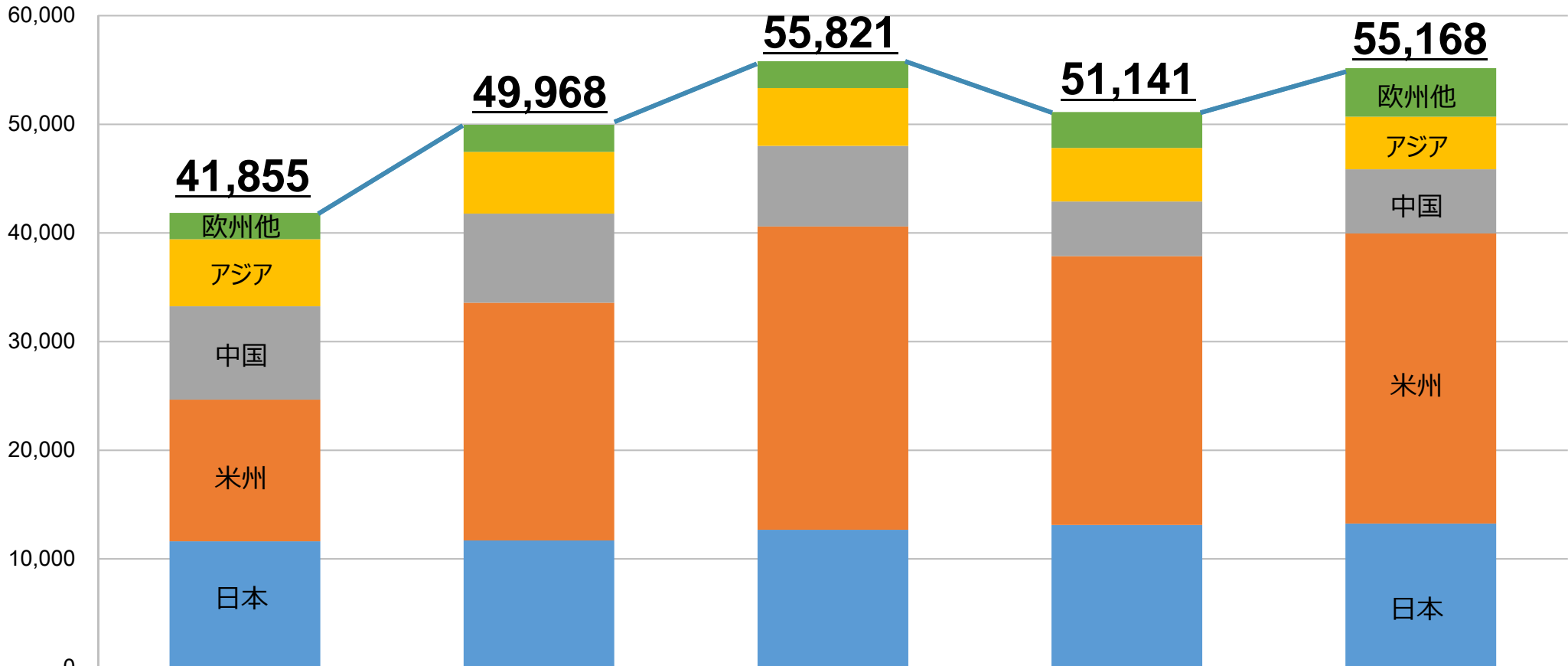
営業利益

360	806	809	2,030	280	575	987	1,553	538	966	1,371	2,345	561	876	532	2,239	538	730	1,338	2,092
-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-------	--------------	-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-------	--------------

2014/3期 売上高 41,855百万円 営業利益 4,006百万円				2015/3期 売上高 49,968百万円 営業利益 3,395百万円				2016/3期 売上高 55,821百万円 営業利益 5,221百万円				2017/3期 売上高 51,141百万円 営業利益 4,208百万円				2018/3期 売上高 55,168百万円 営業利益 4,698百万円			
---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--

地域別売上高推移

(単位：百万円)



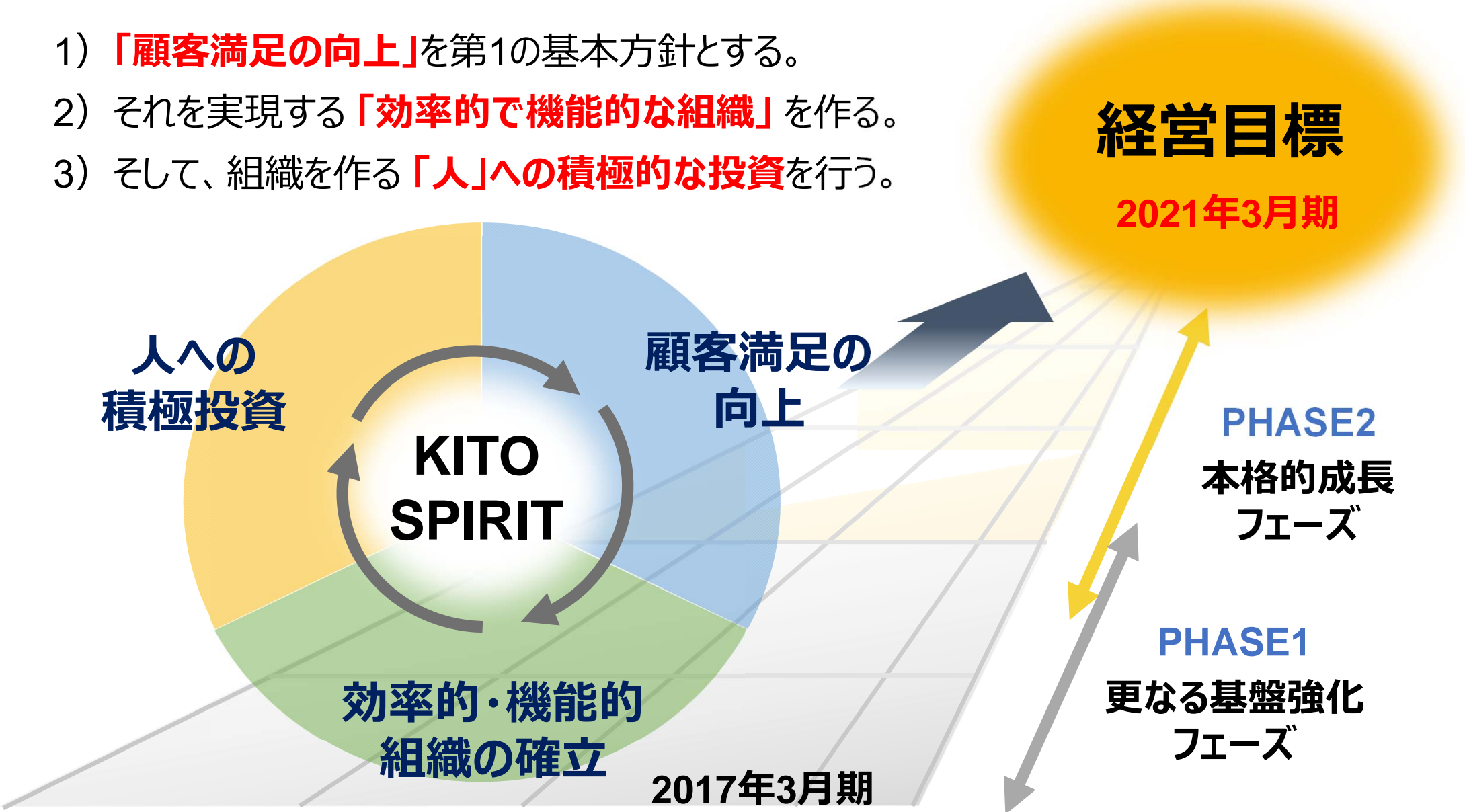
	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
■ 欧州他	2,424	2,500	2,479	3,308	4,465
■ アジア	6,168	5,676	5,321	4,925	4,837
■ 中国	8,604	8,198	7,418	5,034	5,903
■ 米州	13,034	21,888	27,909	24,742	26,700
■ 日本	11,625	11,702	12,692	13,129	13,261

中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

基本方針

3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Goal

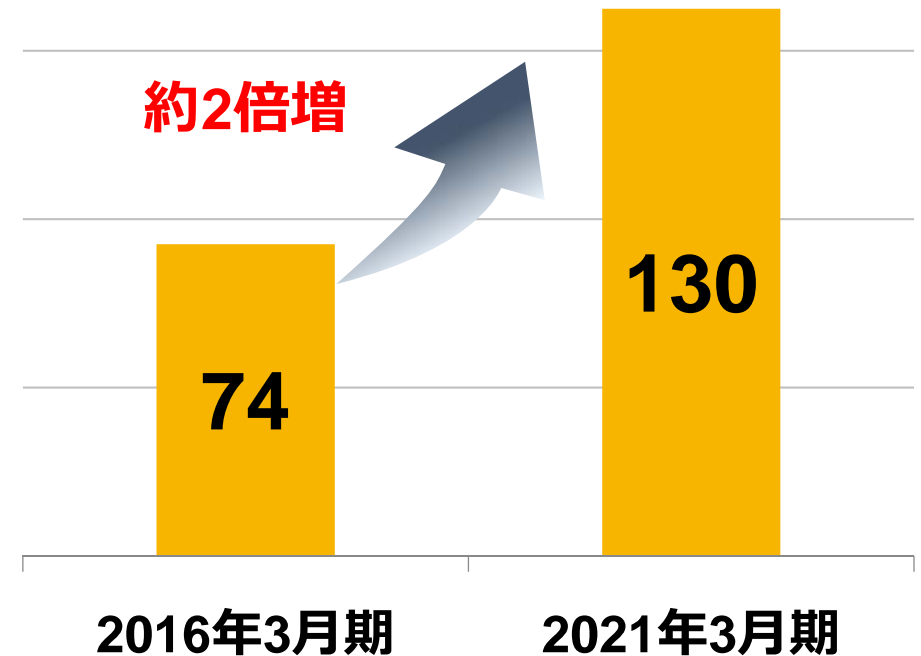
1 高収益体質への回帰

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

3 真のグローバル企業への組織進化

Financial Target

EBITDA



(単位：億円)

“Lifting Expectations”

